

ポンテグランデT O K Y O近隣情報

は し  
**橋の日（8月4日）に千住大橋の清掃が行われます**

8月4日は「は・し」の語呂合わせで「橋（はし）の記念日」とよばれております。例年、橋の日には、千住大橋を日頃から利用している感謝の気持ちを込め、地域住民、行政、企業が三位一体となり大橋とその周辺を清掃する「千住大橋大掃除」が行われています。

今回で13回目を迎えるこの清掃活動は、やっちゃ場や松尾芭蕉などを通じて千住の文化や歴史を伝えていこうと活動する千住大賑会・河原が中心となり実施され、近年では、地元自治会や国土交通省、東京都建設局、足立区、地元企業などから多数の参加があります。

### 1. 実施日

平成29年8月4日（金） 午前9時より

### 2. 会場

千住大橋公園

### 3. 実施内容

千住大橋歩道部や千住小橋、  
千住隅田川テラス、千住大橋公園の清掃

### 4. お問い合わせ先

千住大賑会・河原  
代表 岡本行央（おかもとゆきてる）  
T E L : 03-3881-2110



#### 400年以上の歴史を誇る千住大橋（独立行政法人都市再生機構HPより転載）

千住大橋は国道4号線（日光街道）の隅田川に架かる昭和2年(1927)竣工の鋼製アーチ橋で、現存するブレースドリブタイドアーチとしては日本最古のものです。昭和48年(1973)には交通量の増加のため下流側に上り専用の橋が新たに架橋されて現在の姿となりました。

現在は鋼製の千住大橋も昭和2年に改修されるまでは木造で、初めて架橋されたのは文禄3年(1594)まで遡ります。隅田川に架けられた橋の中では最古で、実に400年以上の歴史を誇ります。架橋を命じたのは江戸城に入城して間もない徳川家康であり、伊達政宗が水に強くて朽ちにくいとして高野槨（コウヤマキ）を杭木材として献納したと伝えられています。当時は現在の位置から約200mほど上流側にありましたが、貞享元年(1684)の架け替えで現在の位置に移されました。もともと千住大橋が架橋された当初は単に「大橋」と呼ばれていましたが、寛文元年(1661)に下流に大橋(両国橋)が架けられた後から「千住大橋」と呼ばれるようになりました。それでも、現在の千住大橋の名板には「大橋」と記され、威風堂々と自らの歴史を刻み続けています。